

令和6年度 福島県教育研究発表会

令和6年11月21日(木) 13:00~13:50 【A③】@講堂

研究主題

「教育の情報化の推進に向けた
教員研修の在り方」

会津美里町立本郷学園
三留 蒼 教諭

会津美里町立本郷学園
山本 義城 教諭

会津美里町立本郷学園
石崎光太郎 教諭

会津美里町立本郷学園
井上 佳太 教諭

福島県教育センター 情報教育チーム 指導主事 大内 祐司

福島県教育センター おおうち ゆうじ 大内 祐司

- ・情報教育チーム所属
- ・高等学校 情報科 指導主事
- ・特技
VBA、GASを利用したアプリ開発、動画編集
- ・最近のお仕事
大学入学共通テスト「情報科」対応の教員研修の開発等

(義務版) URL https://youtu.be/T_DsEyWJzI (県立版) URL <https://youtu.be/RzTC92skeBY>



福島県教育センター 共通教科「情報科」 特設サイト

令和5年度 プログラミング指導支援事業② 第2弾

C01 校務処理に生かす表計算活用講座

講師：福島県教育センター 大内 祐司

実施日：令和5年10月24日(火) 13:00~15:30

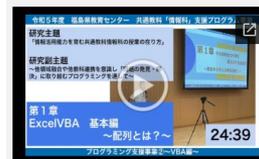


2年前から、プログラミングを活用した「働き方改革」を研究してきました。

～教育実務の自動化実現で働き方改革～

福島県教育センター 高等学校共通教科「情報科」支援プログラム事業

- (1) Excel VBAによるプログラミング指導の在り方を考える。
- (2) 日々の業務改善にExcel VBAを活用する。



【配付教材①】
20230728 教材1.xlsx



【配付教材②】
20230728 教材1_解答入り.xlsx



【配付教材③】
20230728 教材2.xlsx

教務主任業務DX

毎週3時間かかっていた作業が「1秒」に変換！

～高等学校情報科の資質・能力で「働き方改革」実現～



福島県教育委員会

令和5年度 「教育長対談」
第7次福島県総合教育計画をもっと身近に

撮影日：令和5年10月16日
場 所：福島県教育センター

第7次福島県総合教育計画 「学びの変革」の推進に向けて

(義務版)URL

https://youtu.be/T_DsEyWJjzI

福島県教育委員会

令和5年度 「教育長対談」
学びの変革を意識した**授業づくり**

撮影日：令和5年11月20日
場 所：福島県教育センター

第7次福島県総合教育計画 「学びの変革」の推進に向けて

(県立版)URL

<https://youtu.be/RzTC92skeBY>

上記2本の動画を、**大内が編集**させていただきました。

全**26回**訪問させていただき

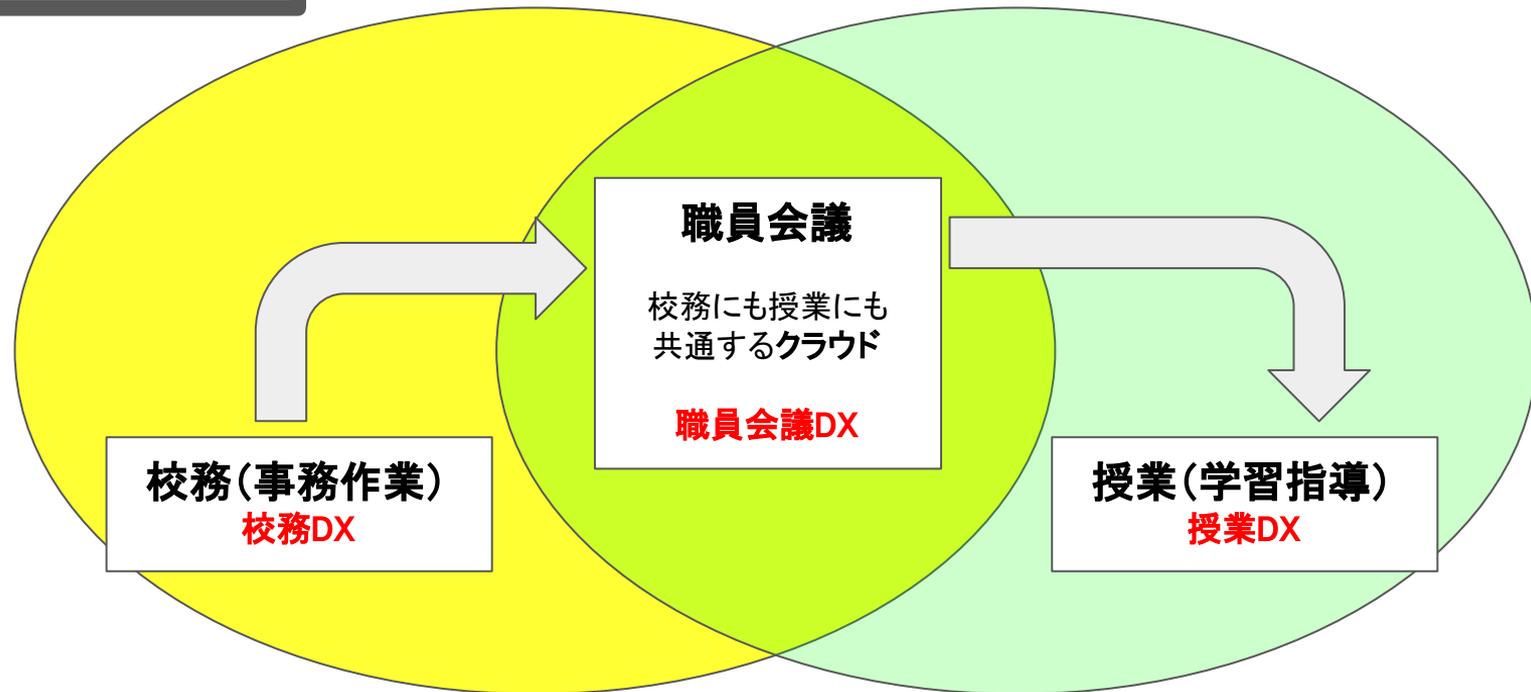
録画データ総時間**約44時間**

情報教育チームが

導き出した **結論**

結論①～「校務DX」から「授業DX」へ～

学校運営・経営



結論②～クラウドを活用した 職員会議へ～



令和〇年〇月〇日 (〇)
第〇回 職員会議
(資料はリンクをクリック)

- 1 校長より
https://drive.google.com/file/d/xxxxxx/view?usp=drive_link
- 2 伝達事項
(1) [〇学期テストについて](#) (教務部)
(2) [〇〇〇に関する校則について](#) (生徒指導部)
(3) [PTA教育講演会について](#) (総務部)
- 3 協議
(1) [第●●回◇◇◇祭について](#) (生徒会)
(2) [出願者対象面接練習について](#) (進路指導部)
(3) [学校評価アンケートについて](#) (教務部)
・ [◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆](#) (◆◆◆◆)

クラウドを活用した職員会議 のメリット

- ・「リンク(URL)の共有」が**全職員に必須のスキル**となる。
- ・「リンク(URL)の共有」で様々な**アプリ操作が理解できる**。

「校務での操作」＝「授業中での操作」の理解が促進される

令和6年度

福島県教育研究発表会

研究主題

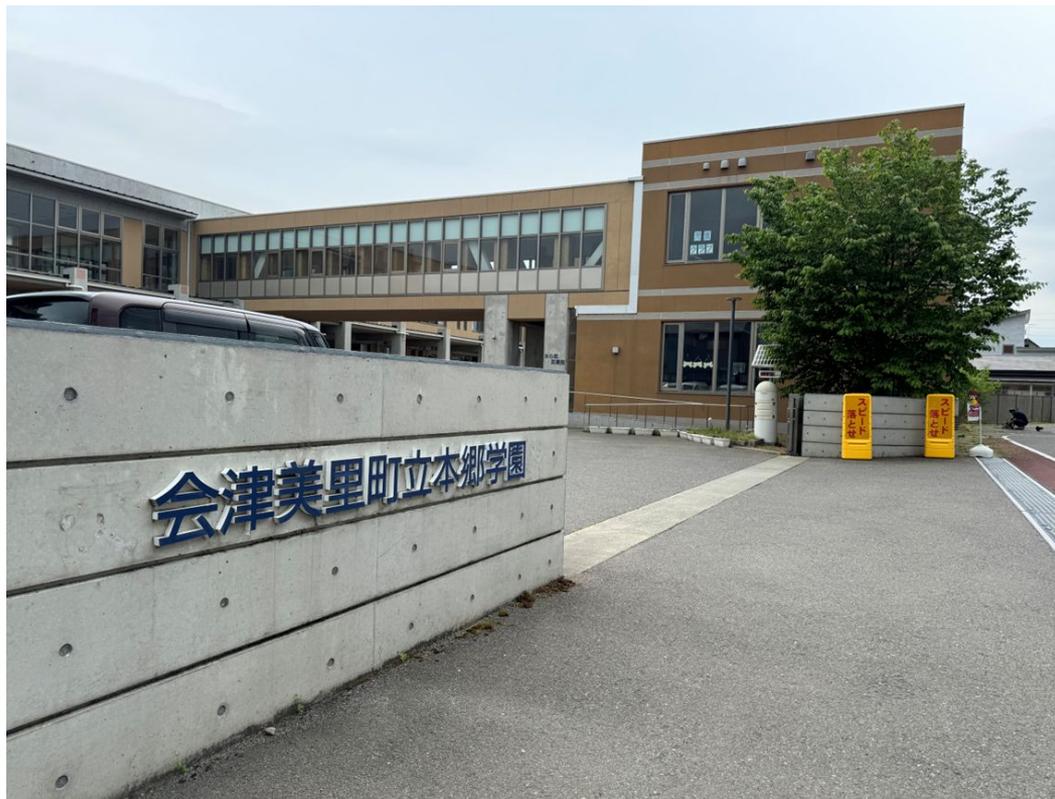
「教育の情報化の推進に向けた

教員研修の在り方」

令和6年11月21日(木) 13:00~13:50 【A③】@講堂

福島県教育センター 情報教育チーム 指導主事 大内 祐司

研究協力校



課題 I

学びの変革に向けてICT活用力を一緒に高めませんか？
 福島県教育センター 情報教育チーム

対話 × 研修 × 実践を通して課題を一緒に解決しましょう！

各学校等 こんな課題ありませんか？

校長先生 先生

1人1台端末の活用が学年やクラスではらつきがある～

主体的・対話的で深い学びの視点で、1人1台端末を活用したいけどICTに自信がない～

授業でICTを使うとトラブルが多くて授業が成立してない～

子どもたちのICTスキルを高めて授業で活用したい～

ICTを使って学校と保護者をもっとつなげることはできないかな～

研修を受講させたいけど時間が確保できないんだよ～

授業をもっと効率化して時間を確保したい～

相談等

支援

県教育センター
 Google Workspace for Educationを活用して課題解決します！

- 年間を通して支援します。
- 希望に応じて年3回～7回程度支援します。
- 報告書の提出は求めません。
- 写真や動画を撮影させていただきます。
- アンケートの協力をお願いします。

(課題例)

- ・ 校内体制づくり
- ・ 日常使い
- ・ 授業での活用
- ・ 職員会議での活用
- ・ 各クラスごとのサイトの構築
- ・ つながる活用
- ・ 学校行事での活用
- ・ オンラインの活用

誰一人取り残すことなく、支援します！

2校限定です！

(実践例)
 つながる（教師同士、教師と子ども、子ども同士、学校と保護者）で1人1台端末を活用をしたい！

課題の共有

スキルを身に付ける

改善案の共有
活用事例の共有

課題の整理
(研修1)

活用の体験
(研修2・3)

イメージをつかむ

スキルの獲得
(研修4・5)

スキルを発揮する

活用の実践
(研修6)

反省・改善
(研修7)

※訪問時期や内容については、学校と相談しながら決めていきます。

情報教育チームの取組
 令和5年度までの3年間「教育の情報化に向けた1人1台端末の活用の在り方」を研究しました。
 そのノウハウを生かして支援します。下記 URL より「窓182号」「窓184号」をご覧ください。
 URL : <https://ocenter.fos.ed.jp/setting/刊行物/所報ふくしま窓>

一人一台端末を 活用する **メリット**

一人一台端末を利用するメリットとは？



「GIGAスクール構想」と「個別最適な学び」の根拠

個別最適な学びは「指導の個別化」と「学習の個性化」の2つに分けられることから、本郷学園の授業においてもこの2つに焦点化した授業作りの根拠としています。



「他者参照」「途中参照」「白紙共有」の根拠

「単線型」と「複線型」を定義しており、本郷学園においては、クラウド環境と1人1台端末が大きな力を発揮する複線型の授業を構築する根拠としています。

一人一台端末を利用するメリットとは？

- ・視覚化（見える化）
- ・即時共有
- ・共同編集

高等学校情報科がご縁となり…



令和6年11月9日(土)文部科学省 3階講堂 にて

研究主題「教育の情報科に向けた教員研修の在り方」～『学びの変革応援事業』を通して～

堀田龍也先生からのアドバイス

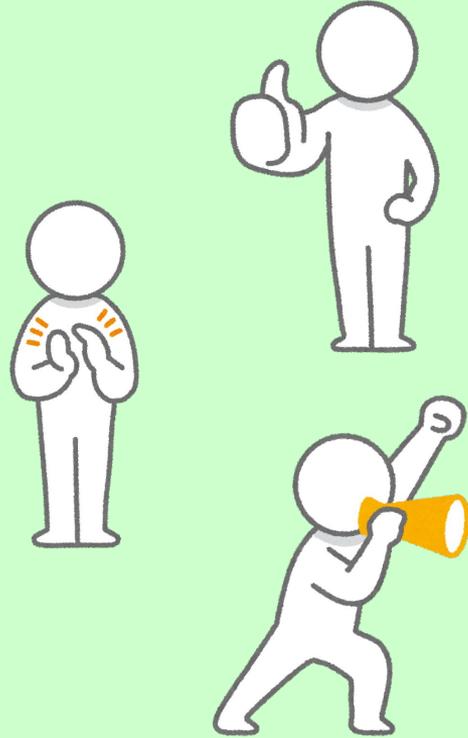
①核となる教員を育成すること

②熊本県高森町の教育DX

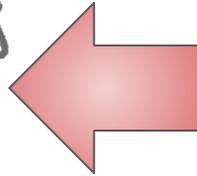
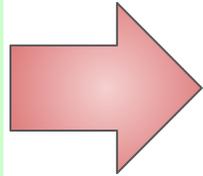


成果①～端末活用を推進する教員を育成～

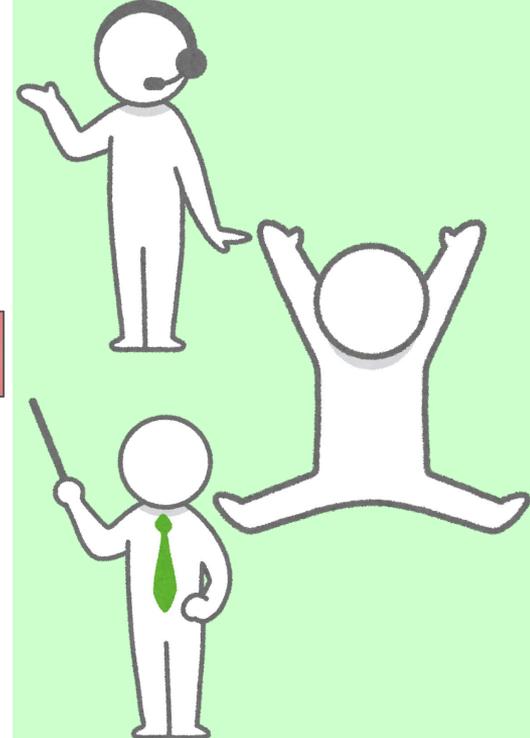
本郷学園
端末活用中核教員



情報教育チームの **支援**



育成



情報教育チームの **支援**

堀田龍也先生からのアドバイス

本郷学園の核となる教員



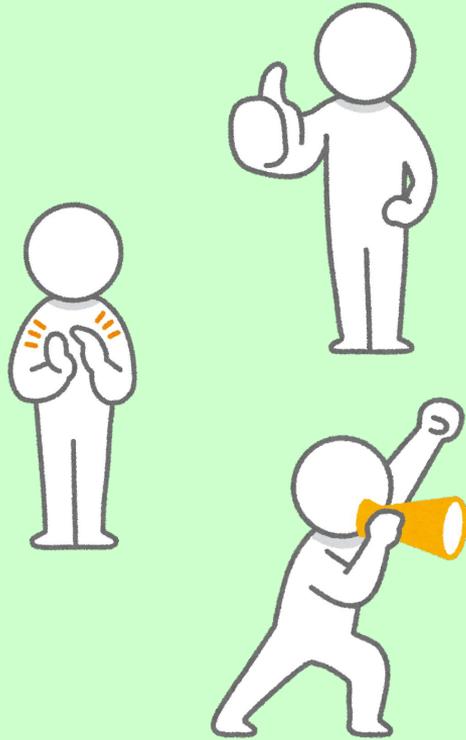
会津美里町立本郷学園

現職教育主任

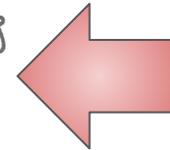
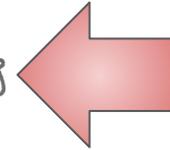
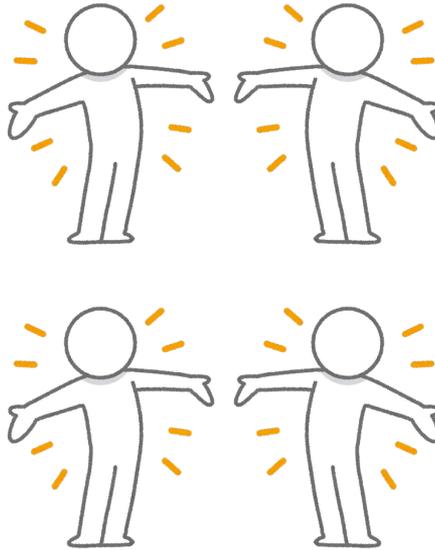
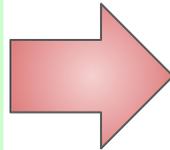
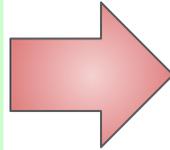
教諭 井上 佳太 先生

成果②～端末活用を推進する教員を 複数育成～

本郷学園端末活用中核教員



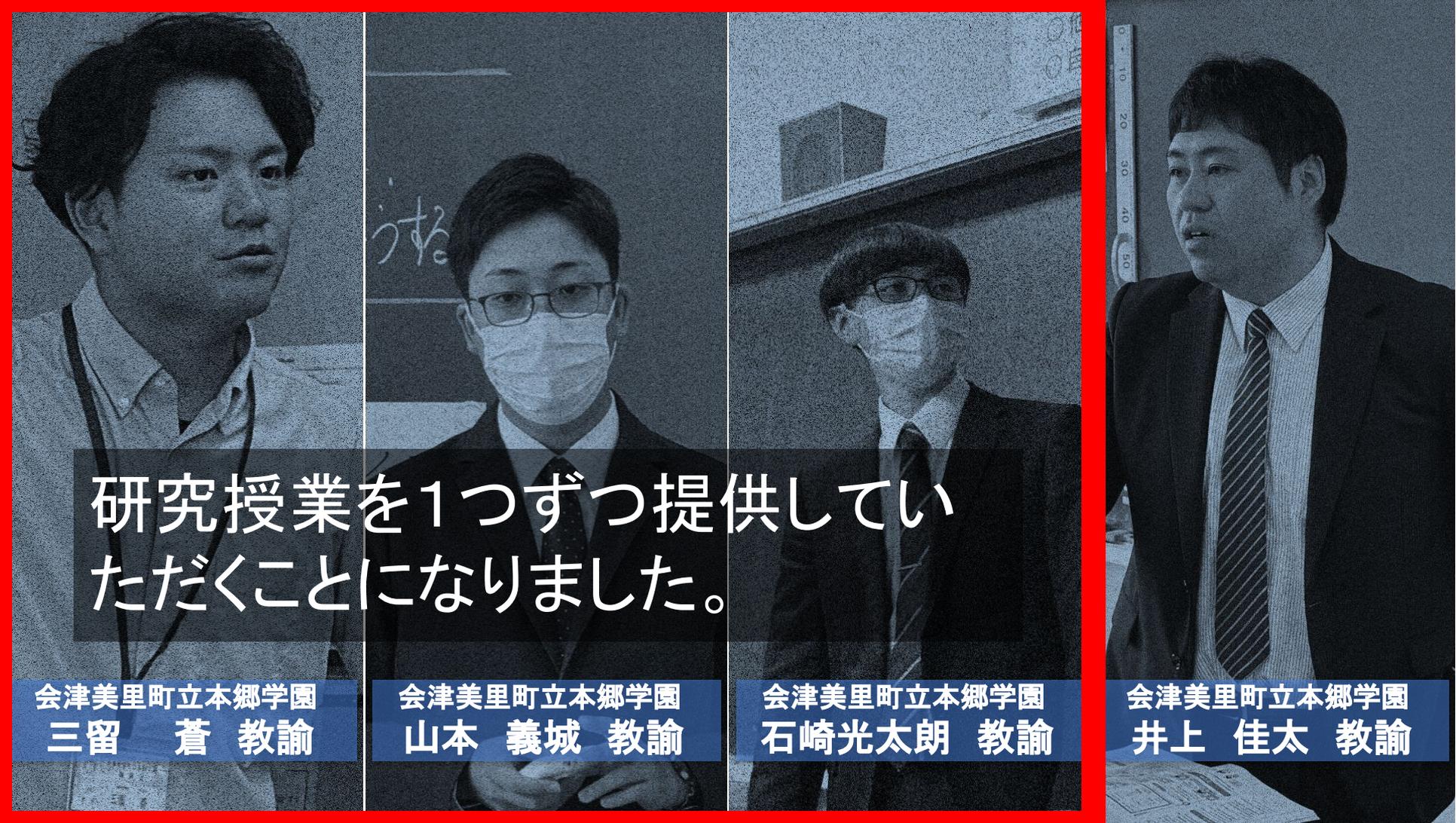
情報教育チームの **支援**



育成



情報教育チームの **支援**



研究授業を1つずつ提供して
ただくことになりました。

会津美里町立本郷学園
三留 蒼 教諭

会津美里町立本郷学園
山本 義城 教諭

会津美里町立本郷学園
石崎光太郎 教諭

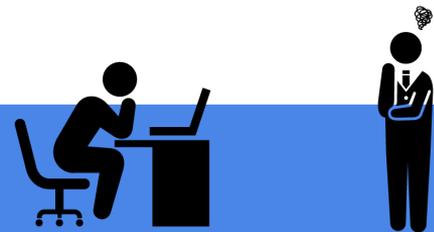
会津美里町立本郷学園
井上 佳太 教諭

研究協力校への 支援と戦略

本郷学園の実態 × 端末活用のメリット

情報教育チームの **支援構想**

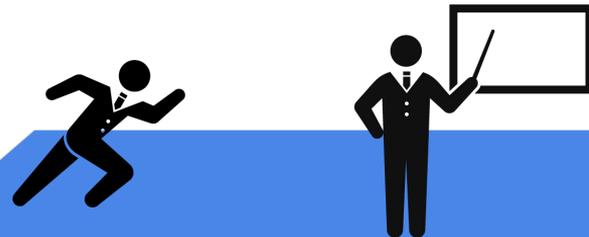
STEP01
導入期 4月～5月



STEP02
黎明期 6月～8月



STEP03
発展期 9月～11月



本郷学園の実態 × 端末活用のメリット

STEP01

導入期 4月～5月

- ①「学びの変革応援事業」の説明
- ②実態調査(授業参観)と課題の収集
- ③「端末活用ヒント集」の作成
- ④研修推進中核教員の育成(一人)
- ⑤研修推進中核教員の育成(複数人)

STEP02

黎明期 6月～8月

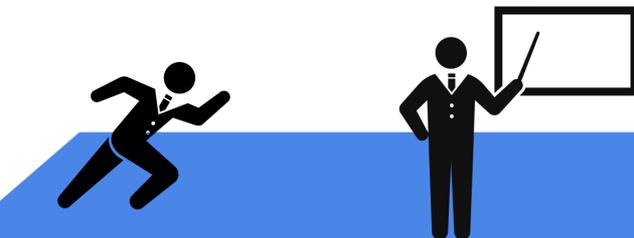
- ①**本郷スタイル**の確立
対象:研修推進中核教員
Q 本郷スタイル、とは?
A 「調べる」⇒「まとめる」⇒
⇒「発表する」⇒「振り返る」
端末を活用した 本郷独自の授業パターン



- ②端末活用に係る 教員同士の自主研修
※「研修デザインの三角形」を教員
自ら作成し研修を実践する。

STEP03

発展期 9月～11月



- ①**本郷スタイル**による研究授業
※研修の成果を研究授業で提案
対象:本郷学園全職員
- ②「**他者参照ルーブリック**」を自校で開発
Q 他者参照ルーブリック、とは?
A 個別最適な学びの中の「学習の個性化」の基準を、他者参照をしている児童生徒の姿で言語化した規準表

資質・能力を可視化 ～見えないものを見るようにする～

育成を目指す
「資質・能力」

リテラシー

コンピテンシー

知識・技能

見える力

思考・判断・表現

見えにくい力

主体的に学習に取り組む態度

ほとんど見えない力

客観試験問題

- ・定期考査
- ・単元テスト
- ・確認テスト等

論述問題等

- ・ノート
- ・レポート
- ・作文等

質問紙

- ・ノート
- ・振り返りシート等

資質・能力を可視化 ~見えないものを見るようにする~

育成を目指す
「資質・能力」

リテラシー

知識・技能

見える力

客観試験問題

- ・定期考査
- ・単元テスト
- ・確認テスト等

一人一台端末を活用すべき資質・能力

コンピテンシー

思考・判断・表現

見えにくい力

論述問題等

- ・ノート
- ・レポート
- ・作文等

質問紙

- ・ノート
- ・振り返りシート等

主体的に学習に取り組む態度

ほとんど見えない力

「学びの基盤」である 情報活用能力

理想

現代的な諸課題に対応して 求められる資質・能力

柱



基礎

スタディスキルとしての

「情報活用能力」「問題発見・解決能力 等」

地盤

読み書きの土台としての「言語能力」

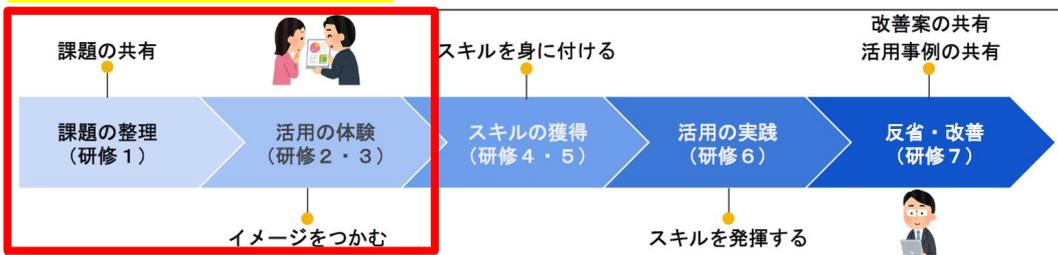
研究協力校への 支援の実際

STEP01「導入期」における戦略 ～守～

情報教育チームの支援構想



学びの変革応援事業



戦略1

「実態調査(授業参観)」と
「課題の収集」
※【前述スライド】の通り※

戦略2

「端末活用のためのヒント集」
の作成
※【福島県教育研究発表資料】を参照※

戦略3

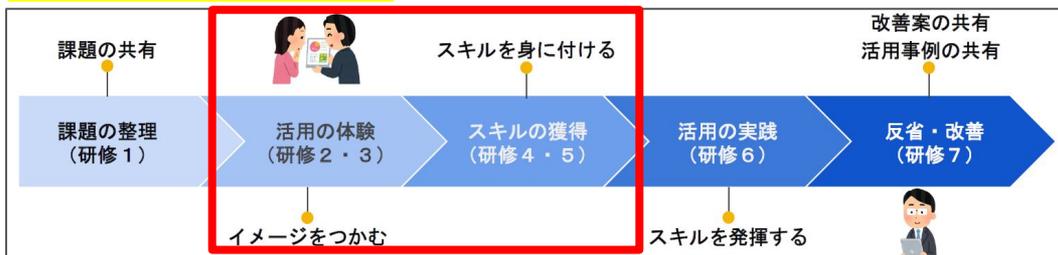
「研修推進中核教員」の育成
前期課程(小学校)井上 佳太 教諭 を中心に

STEP02「黎明期」における戦略 ～破～

情報教育チームの支援構想



学びの変革応援事業



戦略1

「本郷スタイル」の確立

「調べる」⇒「まとめる」⇒「発表する」⇒「振り返る」

- ・井上 佳太 教諭による検証授業
小学校5・6年生 理科
- ・三橋 真依 教諭による検証授業
小学校5年生 国語 社会 家庭
- ・山本 義城 教諭による検証授業
小学校6年生 社会 算数
- ・石崎光太郎 教諭による検証授業
中学校3年生 理科

※推進中核教員が独自に開発したスタイル

・「デジタルワークシート」Googleドキュメントをベースに、

- ☑スクールタクト(会津美里町教委が導入した教育サービス)
- ☑関連資料(PDFや動画教材)
- ☑予想やまとめの記入欄(Googleスプレッドシート)
- ☑発表用様式(Googleスライド)

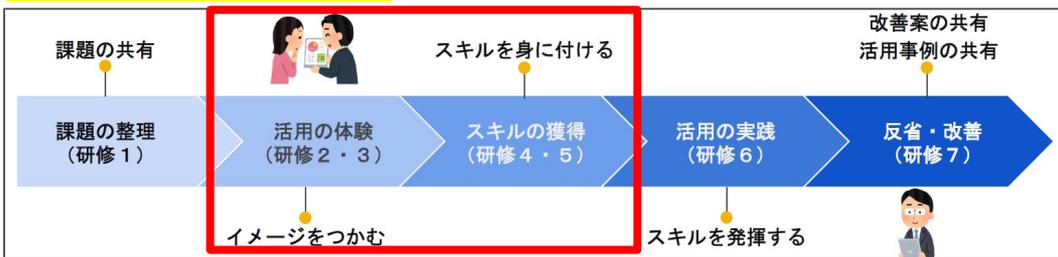
をすべてリンク(URL)に変換した[リンク\(URL\)集](#)

STEP02「黎明期」における戦略 ～破～

情報教育チームの支援構想



学びの変革応援事業



戦略2

「研修デザインの三角形」

を活用した自主研修

「研修観の転換」に向けた～豊かな気づきの醸成～（独立行政法人教職員支援機構 令和6年4月16日発行）5ページの「研修デザインの三角形」を本郷学園現職教育に所属する教員で「**同僚教員を主語にした研修デザイン**」を**作成・活用**し、自主研修を運営する。

※詳細は、次のスライドへ※

<会津美里町立本郷学園の「研修デザインの三角形」>



研究主題「教育の情報科に向けた教員研修の在り方」～『学びの変革応援事業』を通して～

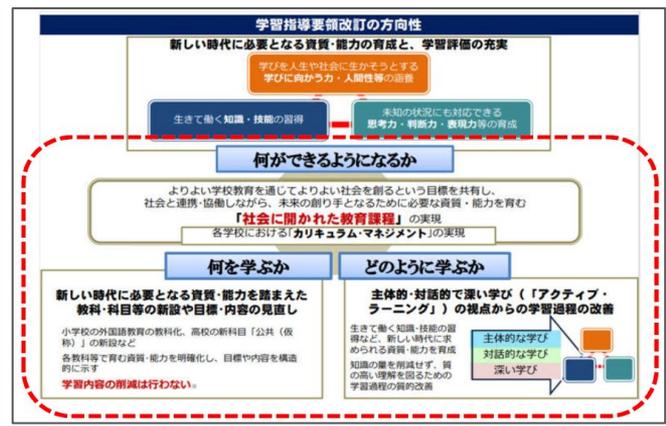
「研修観の転換」に向けた～豊かな気付きの醸成～
 (独立行政法人教職員支援機構 令和6年4月16日発行)

「研修観の転換」に向けた
 NITS からの提案
 (第一次)

～ 豊かな気付きの醸成～



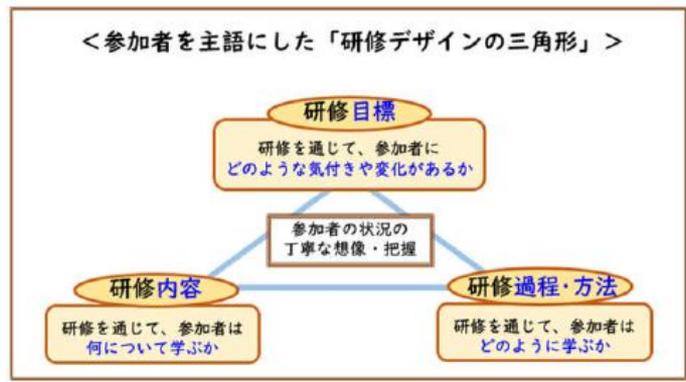
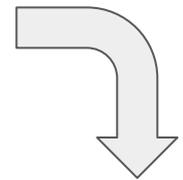
令和6年4月16日
 独立行政法人教職員支援機構



何ができるようになるか

何を学ぶか

どのように学ぶか



会津美里町立本郷学園「研修デザインの三角形」

研修目的
実現を目指す教職員の姿

主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくり
～学びの個別最適化と協働的な学びを支えるICT機器の活用～

<参加者を主語にした「研修デザインの三角形」>



研修目標

Googleアプリケーションの操作法を習得することを通じて、クラウドのメリット（即時共有・他者参照）に気づき、一人一台端末を活用した授業を構想できる。

参観者の状況の
丁寧な想像・把握

研修内容

「操作法」の具体例

- ・ Googleアプリケーションの操作
- ・ クラウドの利用（白紙共有・URLによる共有・「即時共有」「他者参照」）

「クラウドのメリット」の具体例

- ・ 即時共有・他者参照の活用

「端末を活用した授業構想」の具体例

- ・ 「操作法」や「クラウドのメリット」を活かした授業の構想

研修過程・方法

- ・ 振り返り
- ・ 対話
- ・ 知識・技術（考え方、操作方法等）の共有
- ・ 授業の構想
- ・ 校務の構想
- ・ ワークショップ など

「研修観の転換」に向けた
NITS からの提案

（第一次）

～豊かな気付きの醸成～



令和6年4月16日
独立行政法人教育研究開発機構

<会津美里町立本郷学園の「研修デザインの三角形」>

研修目的
実現を目指す教職員の姿

主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくり
～学びの個別最適化と協働的な学びを支えるICT機器の活用～

研修目標

Googleアプリケーションの操作法を習得することを通じて、クラウドのメリット（即時共有・他者参照）に気づき、一人一台端末を活用した授業を構想できる。

参観者の状況の
丁寧な想像・把握

研修内容

「操作法」の具体例

- ・ Googleアプリケーションの操作
- ・ クラウドの利用（白紙共有・URLによる共有・「即時共有」「他者参照」）

「クラウドのメリット」の具体例

- ・ 即時共有・他者参照の活用

「端末を活用した授業構想」の具体例

- ・ 「操作法」や「クラウドのメリット」を活かした授業の構想

研修過程・方法

- ・ 振り返り
- ・ 対話
- ・ 知識・技術（考え方、操作方法等）の共有
- ・ 授業の構想
- ・ 校務の構想
- ・ ワークショップ など



15回目訪問

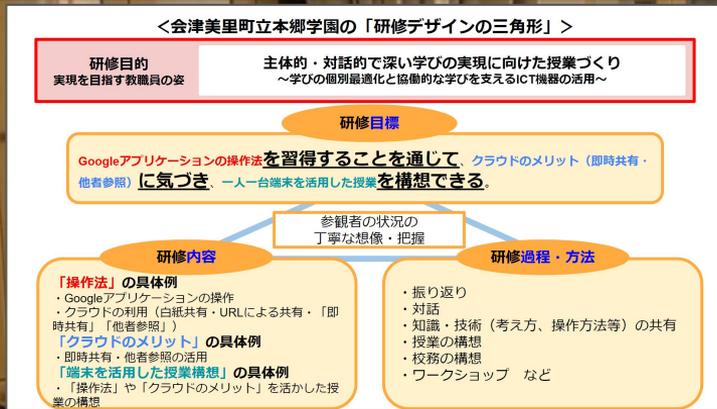
20240725 (木) 井上教諭による講義・演習

自主研修後のリフレクション

何ができるようになるか

何を学ぶか

どのように学ぶか



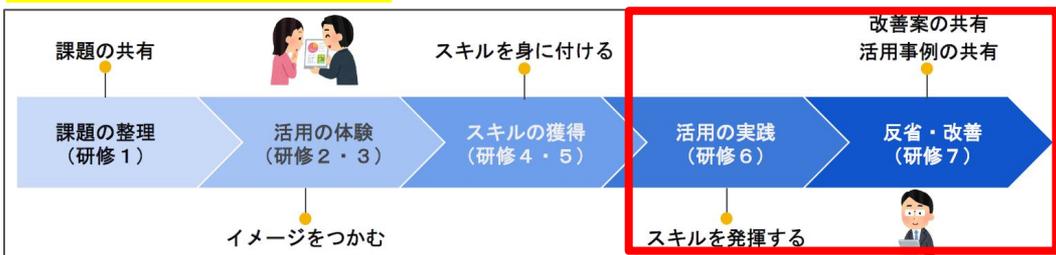
『文科省から言われていること』が
何となくわかった気がする (笑)

STEP03「発展期」における戦略 ～離～

情報教育チームの支援構想



学びの変革応援事業



戦略

「**研修内容を活かした**」研究授業の実施と自主研修(事後検討会)

①令和6年 9月13日(金)

前期課程(小学校)3年「社会科」
教諭 三留 蒼 先生

②令和6年10月30日(水)

前期課程(小学校)6年「算数科」
教諭 山本 義城 先生

③令和6年11月 6日(水)

後期課程(中学校)3年「理科」
教諭 石崎 光太郎 先生

研究授業の**実際**

STEP03 「発展期」における戦略～離～

情報教育チームの支援構成



戦略1

「研修内容を活かした」研究授業の実施と自主研修（事後検討会）

- ①令和6年 9月13日（金）
前期課程（小学校）3年「社会科」
教諭 三留 蒼 先生
- ②令和6年10月30日（水）
前期課程（小学校）6年「算数科」
教諭 山本 義城 先生
- ③令和6年11月 6日（水）
後期課程（中学校）3年「理科」
教諭 石崎 光太郎 先生



研究主題 「教育の情報科に向けた教員研修の在り方」～「学びの変革応援事業」を通して～

前期課程 3年 社会 研究授業 令和6年9月13日（金）

授業者 三留 蒼 教諭

STEP03 「発展期」における戦略～離～

情報教育チームの支援構想



戦略1

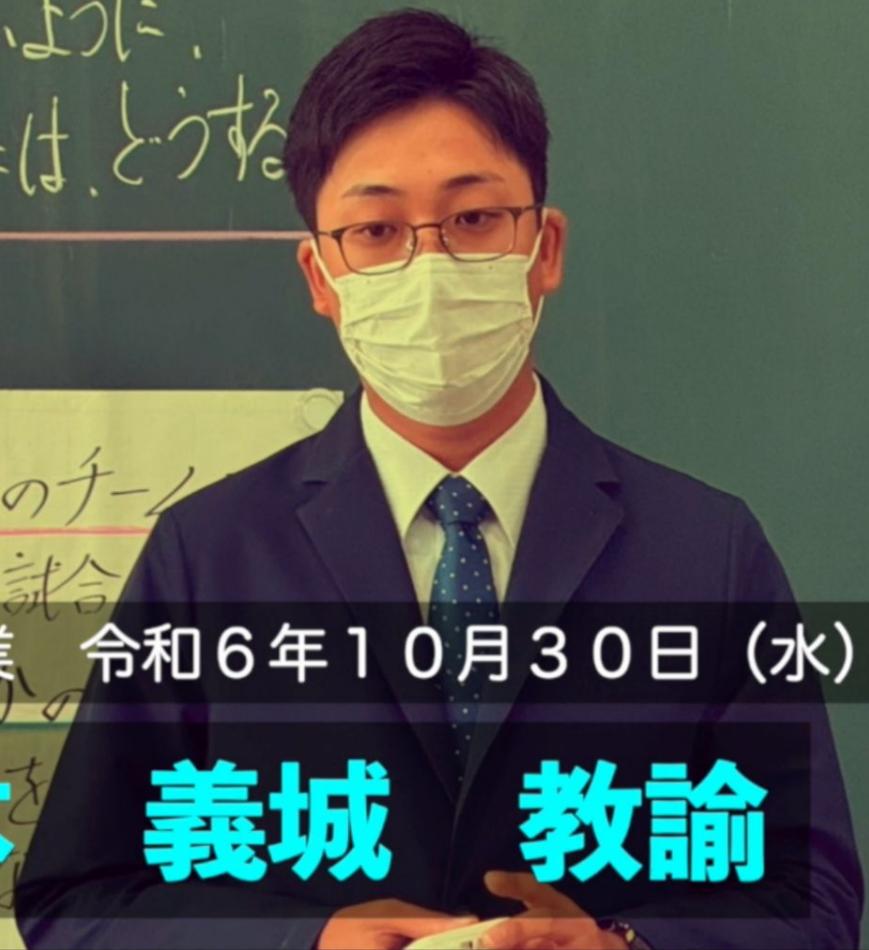
「研修内容を活かした」研究授業の実施と自主研修（事後検討会）

- ①令和6年 9月13日（金）
前期課程（小学校）3年「社会科」
教諭 三留 蒼 先生
- ②令和6年10月30日（水）
前期課程（小学校）6年「算数科」
教諭 山本 義城 先生
- ③令和6年11月 6日（水）
後期課程（中学校）3年「理科」
教諭 石崎 光太郎 先生



研究主題「教育の情報科に向けた教員研修の在り方」～「学びの変革応援事業」を通して～

出ないように、
周へるには、どうせ



前期課程 6年 算数 研究授業 令和6年10月30日（水）

授業者 山本 義城 教諭

1/29
算
フリ
44

STEP03 「発展期」における戦略～離～

情報教育チームの支援構想



学びの変革応援事業



戦略1

「研修内容を活かした」研究授業の実施と自主研修（事後検討会）

- ①令和6年 9月13日（金）
前期課程（小学校）3年「社会科」
教諭 三留 蒼 先生
- ②令和6年10月30日（水）
前期課程（小学校）6年「算数科」
教諭 山本 義城 先生
- ③令和6年11月 6日（水）
後期課程（中学校）3年「理科」
教諭 石崎 光太郎 先生

研究主題「教育の情報科に向けた教員研修の在り方」～『学びの変革応援事業』を通して～

○他を志す
○自ら体をつくる

11/6 10:25
雲量 9
風向 北東
風力 3
乾球 18℃
湿球 13℃

理科室

後期課程 8年

理科 研究授業

令和6年11月6日（水）

授業者

石崎

光太郎

教諭

研究協力校への 今後の支援

STEP04「完成期」における戦略 ～創～



「他者参照」ルーブリックの深化のために

区分	具体的な児童生徒の姿
使用する	検索する。 情報を収集する。 写真・動画を撮る。
活用する	まとめる。整理する。 共有する。 対話する。↑ 発表する。
創造する	新しいものを生み出す。 (友達の写真や動画を参考に自分の使用がアップデートされる) 提案する。 気づきを得て自分なりにまとめる。↑ 他者評価・相互評価する。振り返る。↑

戦略

現職教育が主体となった

「他者参照ルーブリック」

の自主制作

参照レベル1 人と人との参照

(予定)

規準(達成目標)は児童生徒の具体的な姿で表現

参照レベル2 「????」の参照

(予定)

規準(達成目標)は児童生徒の具体的な姿で表現

参照レベル3 クラウド内での参照

(予定)

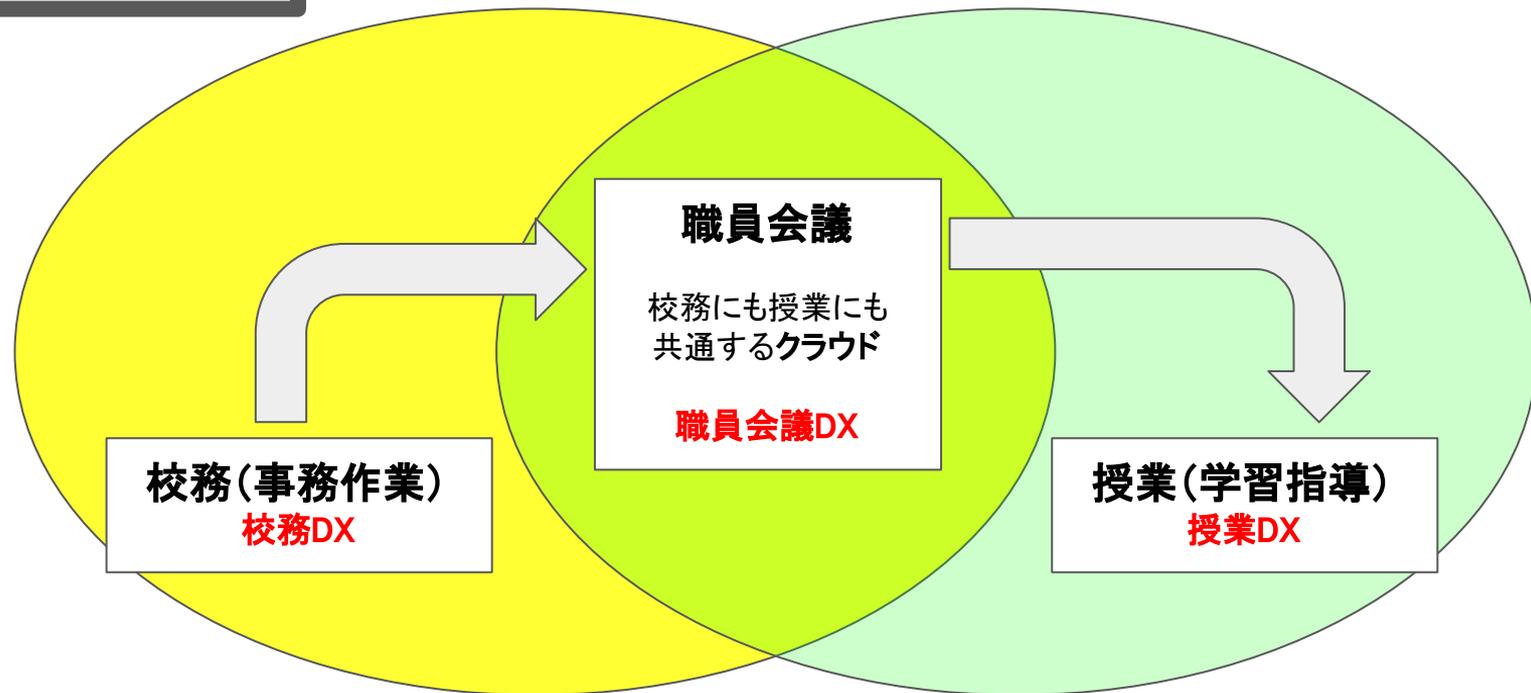
規準(達成目標)は児童生徒の具体的な姿で表現

情報教育チームが

導き出した **結論**

結論①～「校務DX」から「授業DX」へ～

学校運営・経営



本郷学園職員一同様
研修にご協力いただき感謝申し上げます。



井上先生
今後もDX推進(町内全域)をよろしく願いたします。
三留先生 山本先生 石崎先生
授業の提供に感謝申し上げます。井上先生とともに、益々の
DX推進をご祈念申し上げます。

会津美里町立本郷学園
三留 蒼 教諭

会津美里町立本郷学園
山本 義城 教諭

会津美里町立本郷学園
石崎光太郎 教諭

会津美里町立本郷学園
井上 佳太 教諭

ご清聴ありがとうございました。
情報教育チーム一同